

1	公開授業実施日時	2018年2月9日（金）11:45～12:35
2	場所	京都教育大学附属桃山中学校 社会科教室
3	対象	1年2組（中学校2年生）43名
4	授業者	溝部卓司
5	島名	グローバル・イシュー
6	単元名	持続可能な開発：熱帯雨林の開発による環境問題
7	関連する教科・領域	社会科 地理的分野
8	単元の目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発と環境保全を両立させる具体策をさぐる。</li> <li>・先進工業国と発展途上国の経済格差に気づく。</li> </ul>
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル社会に生じる課題を理解することができる。</li> <li>・グローバル社会の課題を多面的に捉えることができる。</li> <li>・他者との考え方の違いを調整することができる。</li> </ul>
11	単元の評価規準【教科・領域として】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アマゾンの熱帯雨林が減少し続けている実態を知る。</li> <li>・アマゾンの熱帯雨林の減少を止めるには何をすべきかを考える。</li> </ul>
12	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	グローバルの利益とローカルの利益を両立させるにはどうすべきかを考えている。
13	単元計画	<p>全3時間</p> <p>第1時 アマゾンの熱帯雨林の役割と減少の実態を知る。</p> <p>第2時 アマゾンの熱帯雨林の減少による温室効果ガスの増加に対してどのような取り組みが有効か考え、データを集める。</p> <p>第3時 集めたデータをもとに検討した案を交流する。</p>
14	本時の目標	開発と環境保全を両立させる具体策をさぐる。
15	本時の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で調べた内容をもとに各グループの案をまとめる。</li> <li>・すべてのグループからの案を聞く。</li> </ul>
16	グローバル・スタディーズとしての特徴	・グローバルとローカル
17	授業者から一言	化石燃料以外の発電や電気自動車、植林などの方法をさぐった生徒が多かった。このことから、現地の人々の生活の向上のためには、アマゾンの開発を留めることは難しいと考えたようだ。しかし、どの代替案もコストが高かったり植林ではカバーしきれなかったりすることに気づいた。私自身は開発抑制を主張する意見が多いと読んでいたのだが、読み間違いであった。授業の結果、振り出しに戻った感があるが、次の学びの機会ではこの認識を踏まえて、この課題に取り組んでほしい。ただ、すべてのグループからの提案を聞いたため、予定した資料が使えなかったことは、反省点である。せっかく考えた案を紹介できないグループをつくってしまうのも良くはないと思うので、迷いがある。

## 社会科学習指導案

京都教育大学附属桃山中学校 溝部卓司

- 1 指導日時 2018 年 2 月 7 日（金） 第 4 限 社会科教室
- 2 指導学級 1 年 2 組（男子 23 名 女子 20 名）
- 3 指導単元 熱帯雨林の開発による環境問題
- 4 ねらい

- ・開発と環境保全を両立させる具体策をさぐる。
- ・先進工業国と発展途上国の経済格差に気づく。

## 5 展開計画

	学習内容および活動	留意事項・準備物
15 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で調べた内容をもとに各班の案をまとめる。</li> <li>・案がまとまらないことが予想されるので、話し合いの過程を記録しておき、何がネックで案がまとまらないのかを報告できるようにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の調べ学習のメモ</li> <li>・記録用紙</li> <li>・ホワイトボード</li> </ul>
20 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての班から報告を聞く</li> </ul>	
10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクアドルのアマゾン油田開発にともなうヤスニ ITT 信託基金プロジェクトの失敗から考えたことを発表する</li> </ul>	
5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ REDD+ について紹介する</li> </ul> <p>まとめ 私たちと同じような生活水準を望んでいる人々が多く存在することを認識し、温室効果ガス排出量削減を考える必要がある。</p>	

## 6 評価

開発と自然の関係について考えることができたか。  
地球環境問題を経済の面からとらえることができたか。